

プログラム名	<b>こまづくり</b>		時間	1～2時間
ねらい	1 豊かな創造性を培うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 用具の安全な使用方法を体得する。			
活動内容	1 活動形態 → 個人あるいはグループ（4～6名程度） 2 内容 → 竹串に好みの色の紙テープを巻き、こまを制作する活動。			
対象	小学生以上	活動可能人数	何人でも可	
展 開 例	<b>1 集 合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定された場所と時間に集合（入所時に確認）</li> <li>グループの場合は、グループごとに集合</li> <li>参加人員と健康状態の把握</li> </ul> <b>2 事前指導</b> （「玄海の家」指導員・約10分） <ul style="list-style-type: none"> <li>活動道具の準備、配布</li> <li>説明および諸注意（実施方法、安全、マナー等）</li> </ul> <b>3 活 動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>竹串に紙テープを巻いていく。</li> <li>木工用ボンドを水で溶かしたものをこまに塗り、固める。</li> <li>木工用ボンドが固まるまで乾かす。</li> </ul> <b>4 事後指導</b> （各団体） <ul style="list-style-type: none"> <li>道具の後片付け、ゴミの処理</li> <li>人員確認および借用物の確認と事務室への返却</li> <li>評価と反省</li> </ul>			
	実 施 上 の 留 意 点	1 研修室の使用などがあるので、利用前に十分事前打ち合わせをする。 2 制作の進度に差が出るため、時間設定に余裕をもたせる 3 作り方、用具の使用方法、片付けなど事前指導を「玄海の家」職員が実施する。 4 用具の貸し出し、返却は職員の点検を受けて確実にを行う。 5 刃物を使用する場合は、ケガがないように十分注意する。 6 細かい作業は、必要に応じて指導者が行う。		
引率者の役割	用具の管理			
「玄海の家」で準備できる物	水入れ、新聞紙、ニッパー、やすり			
利用団体で準備する物	竹串、紙テープ（1人にひと巻き程度）、木工用ボンド、セロテープ 筆（ボンドを水で薄めこまに塗るため）、発泡スチロール（こまを乾かす土台のため）			